



ID: 1322

科目名	建築設計Ⅲ【26年度生用】			コード			
英語表記	Elements of Design and Principles of Design III						
担当教員名	古屋 正次			年度	平成26年度		
基準年次	3年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態	演習	授業形式	面前	履修形態	必修		
授業概要							
生活に最も身近な住宅を通して、建築設計の基本を学ぶ。建築設計Ⅱで学んだ木造建築の知識を基に、木造2階建て住宅を設計する。この課題において、建築空間の表現方法や空間と機能、意匠、技術の関係、更に各種寸法などを理解する。							
到達目標							
1) 図面に用いられる線や製図記号の種類と意味を理解し実際に描く。2) 住宅の設計から、自分の創作する建築空間を図面で表現するための設計製図能力を身につける。3) 住宅各図の表現手法を理解し、意図する空間を実際に描いてみる。4) 設計を通して建築空間の構想や設計能力を身につける。5) 設計の進め方、設計意図の伝達方法を理解し、2次元の図面から3次元の模型を製作する。							
授業計画							
第1回	設計課題の説明 日本・世界の名住宅に関する講義。デザインのヒント。						
第2回	配置・平面計画の検討 方位・建物位置、実際の生活を想定して計画する。						
第3回	平面と構造の整合性 木造の建築として成立するか検討する。						
第4回	立面・断面の検討 外観および空間構成を立体的に把握し検討を加える。						
第5回	配置図・平面図 前課題で学んだことを踏まえ、自分の案を図面化する。						
第6回	配置図・平面図 平面図は生活シーンが見える表現とする。						
第7回	断面図 空間構成が最もよく伝わる位置で断面図を作成する。						
第8回	立面図 デザインの意図が表現できるよう工夫して作図する。						
第9回	基礎伏図・梁伏図 木構造の独特の表現方法を理解し作図する。						
第10回	梁伏図・軸組図 各図面との整合性をとる。						
第11回	矩計図 開口部を含んだ断面詳細図を1/20程度で作成する。						
第12回	透視図(パース) 2点透視図法を用い、外観パースを作成する。						
第13回	透視図(パース) 外観パースに着色を施し、仕上げる。						
第14回	模型 スチレンボードを用いた外観模型を作成する。						
第15回	作品の発表と評論						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
課題の提出物により表現力・完成度・理解度を総合的に評価する。そのほか、学習意欲・出席状況も考慮する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
授業外学習			テキスト、教材				
			テキストはなし。課題内容の資料を講義演習時に配布する。				
参考書			受講生へのメッセージ				
日本建築学会編「建築設計資料集成「居住」丸善富塚信司編「建築製図」実教出版社			日々の生活から住いに関する問題を発見しておくことが必要である。自ら学ぼうとする積極的な姿勢で履修することが何より大切である。「建築学概論」「建築構法」「建築構造Ⅰ」「建築設計Ⅰ、Ⅱ」を履修すること。				
キーワード							